

別紙

株式会社 I H I 呉第二工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 I H I 呉第二工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町 2 番 1 号

(3) 業種

3142 航空機用原動機製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 30(2018)年度を基準とし、令和 元(2019)年度から令和 5(2023)年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30年度	令和5年度(2023)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
エネルギー 起源 CO ₂	18137	17,230 5.0	15,814 12.8	12,313 32.1	11,193 38.3	11,520 36.4	11,751 35.2
非エネルギー 起源 CO ₂		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メタン		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
一酸化二窒素		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 温室効果ガス		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
温室効果ガス 実排出量総計	18137	17,230 5.0	15,814 12.8	12,313 32.1	11,193 38.3	11,520 36.4	11,751 35.2
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数 15731

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30(2018)年度	令和5(2023)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
エネルギー 起源 CO ₂	0.96	0.91 5.0	0.82 14.6	1.18 -22.9	0.86 10.4	0.80 16.6	0.75 22.2
非エネルギー 起源 CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 総排出量	0.96	0.91 5.0	0.82 14.6	1.18 -22.9	0.86 10.4	0.80 16.6	0.75 22.2
エネルギー消費原 単位（原油換算 k1)	0.37	0.35 5.0	0.34 7.6	0.53 -44.7	0.41 -11.3	0.39 -4.6	0.36 3.8
実績に対する 自己評価	2023年度は昨年度よりは改善したが、基準年度の2018年度比-5%の目標値には達していない。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	削減量等	具体的な取組み
1	蒸気配管の漏れ補修 蒸気ボイラーの休日 及び長期連休での運 転停止	都市ガス使用量の削減 443 千Nm ³ (2022 年度実績) ↓ 432 千Nm ³ (2023 年度実績) 11 千Nm ³ 削減 (2.5%削減)	蒸気配管の補修により蒸気漏れの抑 制を行い、また、蒸気ボイラーの休 日及び長期連休での運転停止を行っ たことで都市ガスの使用量を削減し た。
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	なし	
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	2018 年度比 5%削減	各職場でエネルギー使用量の管理、 保留品仕掛品の削減 長期休暇時の工場内停電の実施 使用しない機械の電源を切り、待機電 力の削減
2	廃棄物排出量の削減	2018 年度比 5%削減	廃棄物分別の徹底、業者回収の拡大、 購入量の削減、廃棄物のリユース、 ペーパーレス活動の推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。